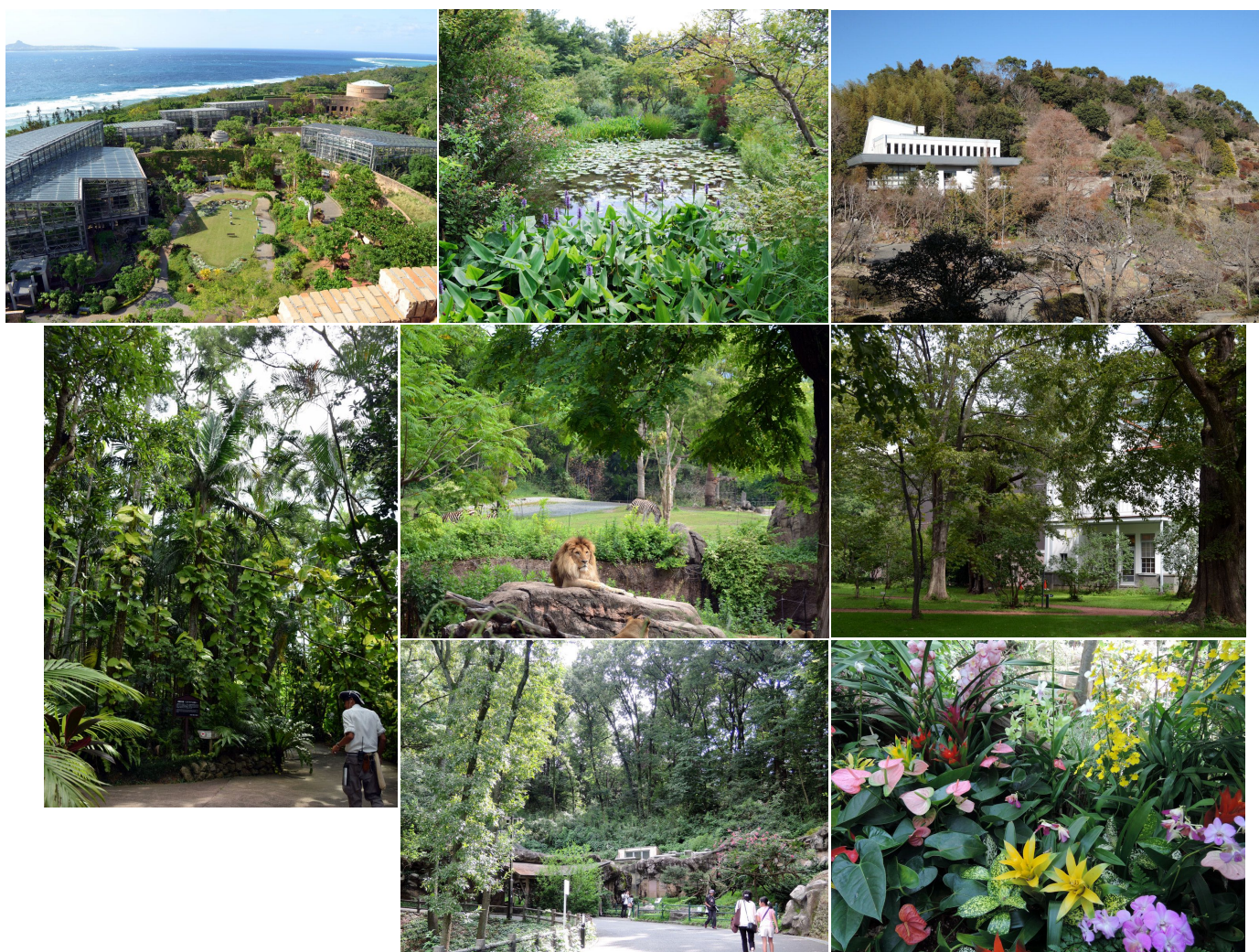


東京農業大学オホーツクキャンパス
学術情報課程年報2015

博物館と学芸員

を目指す



植物園と動物園の植生展示

国営沖縄記念公園海洋博公園熱帯ドリームセンター、箱根町立箱根湿性花園、高知県立牧野植物園
東南植物楽園（沖縄）、大阪市天王寺動物園、北海道大学北方生物圏フィールドセンター植物園
多摩動物公園、長崎バイオパーク

東京農業大学学術情報課程
（オホーツクキャンパス）

農大ロビー展が第5回となった。幸いなことに展示期間中の入館者数は1回目の270人から右肩上がりで、296人、324人、406人と来て、今年は644人と昨年の5割増しの過去最高となった。観覧者の実数はカウントしておらず、無料の展示であることから入館者数をもって観覧者数としている。同時期に開催している他のロビー展示、講座や講演会といった普及事業の参加人数も含めた数字であるので、農大ロビー展への観覧者が増加したとは限らず、むしろ他の要因の方が大きいのかも知れない。しかしながら、今年に限っては、進化生物学研究所から借用したエピオルニス全身骨格レプリカ標本を見に来た人が多かったのではないかと思っている。目玉資料の威力である。

特別展は学芸員の特権と当方は授業で説明している。試しにネット検索したところ、最上位の結果は自分のテキストだったので、この表現はあまり一般的でないのかも知れない。あるいは「特権」という言葉をはばかる向きがあるのかと思う。けれども自らの疑問や成果を文章だけでなく、写真や映像、実物資料でかたちにし、公共の空間を使って実現する「知的情熱の物的表現」は、とてもやりがいのある仕事である。さらに展示の仕事は最終的な表現だけでなく、そこに至る過程と反響こそが面白い。素材の探索と調達、新たな人とのつながり、思わぬ評価や自然と集まってくる資料など、学生たちには展示の醍醐味に少しでも触れて欲しいと願う。

空間の博物館化は駅や百貨店をはじめ多方面で進んでいる。シンプルに展示ケースを置くことから実際に美術館や博物館を設けることまで、空間を改変して展示の意図を与える動きである。それは空間に意味を与える営みともいえる。合理的効率的ではあっても無味乾燥な空間から、心地よく存在できる場所への転換である。意味を与えられた場所には人があつまり話題が生まれ、物も集まる。それは1枚の絵でも写真でもかまわない。そこに屋根を掛ければ館となる。ふれあい、にぎわい、など行政主導のキーワードもおなじところを目指している。

名付けも意味を与える行為である。学生が手掛けるロビー展も内容に関わらず、必ず「農大」の2文字を入れてきた。会場が大学ではなく本物の博物館で行うこと、「農大ロビー展」が略称として座りがいいこと、宣伝効果を考えてのことだが、学生にとっては自分たちを知って欲しいと思う気持ちがある。そして何よりも大学の名称に愛着を持っている。違和感なく受け入れ、口に出して言える名前。単なる記号や呼称を超えた名前のもとで4年間が過ごせれば、その学生生活は幸せだったといえるだろう。

博物館情報学研究室・嘱託准教授 宇仁義和（うに・よしかず）

1. 開講科目

科目名	単位	開講年次	担当教員	教科書
博物館概論	2	1年前期	宇仁義和	オリジナルプリント
博物館教育論	2	1年後期	入宇田尚樹・宇仁義和	小澤周三編1998『教育学キーワード』
博物館資料論	2	2年前期	渡部 裕	全博協西日本部会編2012『新時代の博物館学』
生涯学習概論	2	2年前期	宇仁義和	オリジナルプリント
博物館資料保存論	2	2年後期	渡部 裕	石崎武志2012『博物館資料保存論』
博物館展示論	2	2年後期	宇仁義和	オリジナルプリント
博物館情報論・メディア論	2	3年前期	宇仁義和	波多江潤子2012『新詳細DTP基礎改訂三版』
博物館経営論	2	3年後期	宇仁義和	オリジナルプリント
博物館実習	3	3・4年通年	宇仁義和	オリジナルプリント

2. 館園見学

学年	見学施設	分野	設置者・博物館法による区分
1年	博物館網走監獄	建築・歴史	私立・登録
1年	網走市立郷土博物館・モヨロ貝塚館	総合・考古	公立・登録
1年	北海道立北方民族博物館	民族・考古	公立・登録
2年	釧路市動物園	動物園	公立・類似
2年	釧路市立博物館	総合	公立・登録
2年	エコセンター2000	公民館	—
2年	網走市立美術館	美術	公立・登録
2年	足寄動物化石博物館	自然史	公立・類似
3年	網走市立郷土博物館丸万収蔵庫	産業史・民俗	公立・登録
3年	美幌博物館	総合	公立・登録
3年	旭川市科学館	科学館・プラネタリウム	公立・登録
3年	サッポロビール博物館	企業博物館	私立・類似
3年	北海道大学植物園博物館	植物園・自然史	国立・相当
3年	札幌市円山動物園	動物園	公立・相当
3年	小樽水族館	水族館	私立・相当
3年	北海道埋蔵文化財センター展示室	考古	公立・類似
3年	北海道博物館	総合	公立・類似



美幌博物館 展示企画のコツを知る



小樽水族館 卒業生の経験を聞く

3. 特別な授業

1) 外部講師等による授業

(1) 博物館展示論

本学部の卒業生である美幌博物館の町田善康学芸員（生物生産学科H14年度卒業）による特別授業を、12月1日に2年生科目「博物館展示論」で実施した。同館がH23年度に実施した企画展「テーブルの上のホネ展へようこそホネホネ食堂へ～」を題材に、展示資料の作成、収蔵資料の活用、バナーのデザインなどを解説した。教材として展示に用いられた骨格標本や剥製、ワークシートなどを使用した。今年度で3回目となった。

(2) 博物館経営論

標津サーモン科学館の市村政樹館長による特別授業を、12月8日に3年生科目「博物館経営論」で実施した。H25年度からNPO法人サーモンサイエンスミュージアムの理事長として同館を運営してきた経験、小学校と連携したサケの一生を体験する教育事業、チョウザメに関する大学との共同研究、自然河川での産卵状況調査など、地域を舞台にした幅広い高い活動は学芸員の可能性を大きく示す内容であった。今年度で2回目である。

(3) その他

本課程の科目等履修生が、12月16日に博物館展示論でハンズオン教材の説明を行なった。これは知床財団のヒグマ学習用トランクキットで、科目等履修生が同財団に勤務しており、持参して実現したものである。

4. 第5回農大ロビー展「近藤典生と自然動植物公園」

北海道立北方民族博物館を会場に2011年度から毎年実施している3年生の展示実習である。過去4年間のテーマは学生が決めていたが、今年度は教員が設定した。本課程の履修学生は、動物園や水族館への志望者が大半を占め、2015年に生誕100年となる近藤典生の人物と業績は知るべき内容と考えて実施した。

近藤典生 1915～1997 はマダガスカルを日本に紹介し、南米からマナティを持ち帰り、動物園に景観と共生の概念を導入したパイオニアである。1960～70年代には異境を歩いた探検研究者として知られ、百貨店での展示会を100回以上開催、テレビやラジオなどのメディアに登場し、少年少女向けの生物記事を多数執筆監修した。いまでは忘れられた存在となっているが、知らず知らずのうちに近藤の文章に触れ、生き物の不思議や遠くの世界に夢を馳せた人も多かったようである。なじみとなったキツネザルやカピバラの飼育は、近藤が先鞭を付けたものであった。檻や柵を無くした自然動植物公園「バイオパーク」を実現する一方、生き物を資源として見る視線も持ち合わせていた。今年度は5月の連休明けにイルカ飼育の是非が問題となり、動物園や水族館のあり方があらためて問われるようになった。近藤の自然動植物公園は、そのひとつの回答となっていると考える。

展示解説書を用意しているので、ご覧いただければ幸いです。

第5回農大ロビー展「近藤典生と自然動植物公園」解説書 12ページ PDF 1.2MB

http://www.bioindustry.nodai.ac.jp/~muse/kondo/nodai_kondo2015_note.pdf



展示資料から 左：近藤典生が愛用した旅行かばん 中：手掛けた絵はがきや小冊子とアフリカ縦断ナンバープレート 右：走鳥類の大型卵、左から絶滅鳥エビオルニス（中央のみ実物）、ダチョウ、エミュー（オホーツクキャンパス所蔵）

○第5回農大ロビー展「近藤典生と自然動植物公園」開催要項

期間：2015年12月5～13日（8日間）月曜休館、最終日は午後3時まで

会場：北海道立北方民族博物館 特別展示室

主催：東京農業大学学術情報課程（オホーツクキャンパス）・北海道立北方民族博物館

協力：（一財）進化生物学研究所

おもな展示資料：エピオルニス全身骨格レプリカ標本（日本唯一にして北海道初上陸）、頭骨レプリカ標本（アメリカマナティ、カピバラ、ワオキツネザル）、バオバブの盆栽と種子、近藤愛用の旅行かばん、1961年アフリカ縦断調査のナンバープレート、自然動植物公園の造成工事アルバム、学術雑誌・学習雑誌の記事コピー
ポスター制作：工藤 茜



左上：展示場全景 左下：自然動植物公園コーナー 右：史上最大の鳥類エピオルニスの全身骨格レプリカ標本と卵



近藤が設計監修した自然動植物公園

上段 左：伊豆シャボテン公園 中：鹿児島市平川動物公園 右：長崎鼻パーキングガーデン（鹿児島）

下段 左：ネオパークオキナワ名護自然動植物公園 中および右（非公開区域）：長崎バイオパーク

5. 館園実習

本年度の実習生は38名（3年生37名・科目等履修生1名）、受入先は北海道6館13名、青森県1館1名、岩手県1館1名、群馬県1館1名、茨城県1館1名、東京都5館5名、神奈川県4館4名、新潟県1館1名、静岡県1館1名、大阪府2館2名、和歌山県1館2名、山口県2館2名、長崎県1館1名、沖縄県3館3名であった。本学の館園での実習者はおらず、全員が学外の施設で実習をおこなった。実習者38名のうち34名が生体展示施設での実習（動物系8・水族系21・植物系2・昆虫系等3）と大半を占め、博物館や科学館での実習者は4館4名であった。

お忙しいなか、実習生を受け入れてくださった館園にお礼申し上げます。

学籍番号	氏名	館園名	実施期間
○生物生産学科 3年生6名			
42213000	女子学生	長崎バイオパーク	2015.8.10～21
42213000	男子学生	串本海中公園	2015.12.28～2016.1.7
42213000	男子学生	馬の博物館	2015.7.24～8.6
42213000	女子学生	利尻町立博物館	2015.10.5-9
42213000	女子学生	進化生物学研究所	2015.10.26～11.5
42213000	男子学生	丸瀬布昆虫生態館	2015.9.4～7, 11～16
○アクアバイオ学科 3年生29名			
42313000	女子学生	沖縄海洋博記念公園・美ら海水族館	2015.11.10～17
42313000	女子学生	串本海中公園	2015.10.16～26
42313000	女子学生	標津サーモン科学館	2015.10.26～11.5
42313000	女子学生	登別マリパークニクス	2015.9.11～21
42313000	女子学生	水戸市植物公園	2015.9.13～19
42313000	女子学生	美幌博物館	2015.8.4～15
42313000	男子学生	新江ノ島水族館	2015.8.1～14
42313000	女子学生	ネオパークオキナワ名護自然動植物園	2015.9.15～25
42313000	男子学生	標津サーモン科学館	2015.9.28～10.8
42313000	女子学生	葛西臨海水族園	2015.9.18～29
42313000	男子学生	海遊館	2015.8.17～31
42313000	男子学生	標津サーモン科学館	2015.10.26～11.5
42313000	女子学生	東南植物楽園	2015.3.14～27
42313000	男子学生	青森県営浅虫水族館	2015.8.19～29
42313000	男子学生	小笠原海洋センター	2015.9.3～14
42313000	女子学生	オホーツクとっかりセンター	2015.8.31～9.13
42313000	女子学生	標津サーモン科学館	2015.10.15～25
42313000	女子学生	岩国市立ミクロ生物館	2015.8.20～31
42313000	男子学生	伊豆・三津シーパラダイス	2015.8.24～9.2
42313000	男子学生	標津サーモン科学館	2015.10.26～11.5
42313000	男子学生	標津サーモン科学館	2015.9.28～10.8
42313000	女子学生	横浜・八景島シーパラダイス	2015.11.25～12.9
42313000	男子学生	東京都大島公園動物園	2015.9.13～26

42313000	男子学生	盛岡市動物公園	2015.9.3~12
42313000	男子学生	群馬県立ぐんま昆虫の森	2015.8.1~16
42313000	男子学生	標津サーモン科学館	2015.10.15~25
42313000	女子学生	海響館	2015.8.24~9.6
42313000	女子学生	大阪市立天王寺動物園	2015.8.17~30
42313000	男子学生	相模川ふれあい科学館	2015.8.17~30
○産業経営学科 3年生2名			
42513000	男子学生	ときの森公園	2015.8.17~27
42513000	男子学生	多摩六都科学館	2015.8.22~31
○科目等履修生 大学院博士後期課程1名			
95150000	男子学生	美幌博物館	2015.8.4~15

【館園実習日誌から】

これは重度の障害を持つ方々の家族、かららの11行キッコ
 と持つ方など、普段、水族館へ訪ねてはたのびる方々を対象として、夜、閉園後の数時間、
 水族館へ招待しようという企画であった。来館したお客様は皆、普段見ることができない
 生物に会い、興味津々でとても楽しそうであった。特に印象に残ったのは、サウナーで、サ
 の吸い出しが持ち帰ってという係りの人達、スタッフにきた子で盲眼の子達、触れ触れと
 皆、笑顔になり、「コレが!」と興味を持ってきた。体の動かない子でも反応が少なかった。こ
 りで一緒に楽しく幸せな気持ちになった。この企画、ほんと素敵だと思う。もともと色んな
 人から、どうしていいかと思う。

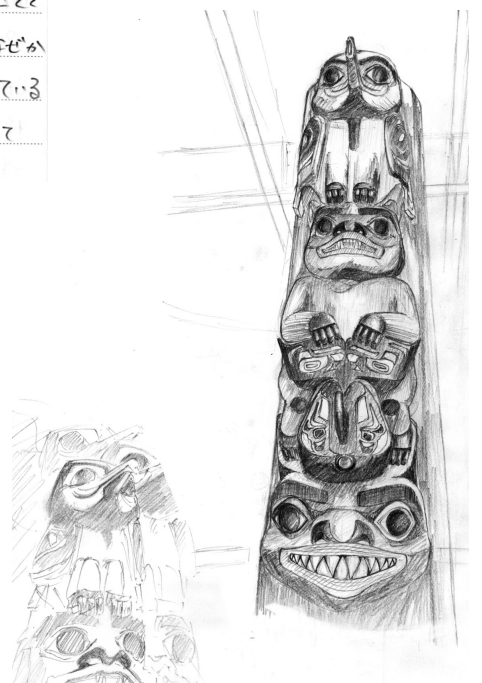
今日から2日間は公立の中学生がお客さん。今までの中学生よりもはしゃぎ気味なのが
 特徴で、お話を聞いてほしい時やメモをとってほしい時など、先生が今まで以上に何度も同じことを
 繰り返して言っていた。今まででサウナーは一番種類が多かった。体感としてなぜか
 かわらないが、一番体力を消耗した。生徒は最後のほう完全に集中力が切れてしまっ
 のがゆえに、指導する立場から見ると少し悲しく感じた。最後に、2時間ほど、道路について
 きた先生に相談してもらい、具体的にうれしませてきて、頑張ろうと思う。

こども動物園での団体指導を行った。小学校の小学1年生の学童たちは、遠足とい
 うこともあったため、うさぎの抱き方について説明している時にも、ウサギのケージの中に入ら
 したり、モルモットのケージへ行こうとしたりと落ちつかない子が多く見立っており、説明が
 終わったあとにすぐ注意したことを行う学童がいたり、場所が変化することで話を聞いて
 いない学童が増加することを実際に身を持って知ることができたと同時に、子供に
 伝える難しさを感じました。また、注意するときも気を付けてはいけないことが、年代
 によって異なってくることも団体指導の難しい所であると考えられる機会となりました。

今日は、7月の水櫃の掃除でお客様の視線をリゾビオタテを色んな所に
 置くようにした。水族館の教育としてリゾビオの役割を果たしているのが、今水櫃
 だと思ふからだ。自分がお客側の立場に在る時、学べるような環境を作ること
 が非常に大事だ感じた。水族館、飼育員は先日も書いたように大きな水櫃
 を作ったり、様々な道具を使いこなすことに、細かい作業も必要になってくる
 為、守先の器用さも大切だと思ふ。発想力が必要を職業である。



学生作成の顔出しパネル



資料スケッチ (北海道立北方民族博物館)

飼育全体を画し、それぞれ飼育員のこだわりがあると思ふ。
 自分の動物以外には、口だししないのが、暗黙のルールのような。それが良いのか
 悪いのかは、最後までわからなかったし、聞けなかったが、もし自分が飼育員になったら、
 自分のこだわりを縛りたくない飼育、展示をしたい。

6. 年間カレンダー

- 4月 8日 受講希望者向け説明会
4月22日 教職・学術情報課程委員会（全体会議）
5月 9日 美幌博物館見学（3年生）
5月11日 受講学生決定
5月12・14日 網走市立郷土博物館・モヨロ貝塚館見学（1年生）
5月19日 網走市立郷土博物館丸万収蔵庫見学（3年生）
5月19・21日 北海道立北方民族博物館見学（1年生）
6月16・23日 博物館網走監獄見学（1年生）
6月26日 全国大学博物館学講座協議会全国大会に参加（江戸川大学）
6月30日・7月1日 エコーセンター2000および網走市立美術館見学（2年生）
7月 4日 釧路市動物園および釧路市立博物館見学（2年生）
9月8～10日 札幌館園見学旅行（3年生）
11月14日 足寄動物化石博物館見学：展示室解説および化石レプリカ作成（2年生）
11月20日 全国大学博物館学講座協議会東日本部会に参加（東北学院大学）
11月27日 教職・学術情報課程委員会（学術情報課程）
12月 1日 特別授業1：美幌博物館・町田善康学芸員 2年生「博物館展示論」
12月 8日 特別授業2：標津サーモン科学館・市村政樹館長 3年生「博物館経営論」
12月5～13日 第5回農大ロビー展「近藤典生と自然動植物公園」 会場：北海道立北方民族博物館
12月8・10日 第5回農大ロビー展「近藤典生と自然動植物公園」見学会（1・2年生）

【博物館などへの採用実績】

・新卒者

小樽水族館（北海道） アクアバイオ学科男子1名2013年3月卒業 同年4月採用

長岡市寺泊水族博物館（新潟） アクアバイオ学科女子1名2011年3月卒業 同年4月採用

串本海中公園センター（和歌山） 生物生産学科男子1名2011年3月卒業 同年4月採用

・既卒者・科目等履修生

富士サファリパーク（静岡） 生物生産学科女子1名2013年3月卒業 同年4月採用→2014年4月から飼育担当

生物生産学科女子1名2013年3月卒業 同年4月採用（富士山こどもの国）→2014年4月から飼育担当

釧路市立博物館（北海道） 生物生産学科男子1名2003年3月卒業 2013年4月採用

美幌博物館（北海道） 生物生産学科男子1名2003年3月卒業 2010年7月正職員登用

・アルバイト期間契約職員など

オホーツク流水館（北海道） アクアバイオ学科2013年3月卒業女子1名 2015年8月～ 地域おこし協力隊員

えりも町郷土資料館（北海道） アクアバイオ学科2013年3月卒業男子1名 2015年5月～地域おこし協力隊員

多摩六都科学館（東京） アクアバイオ学科女子1名2009年3月卒業 2014年4月～

さいたま水族館（埼玉） アクアバイオ学科男子1名2012年3月卒業 2013年4月～

南三陸町自然環境活用センター準備室（宮城県） 復興庁派遣

アクアバイオ学科男子1名2010年3月卒業 2013年4月～2015年3月

海遊館（大阪） アクアバイオ学科女子1名2012年3月卒業 2012年7月～2014年7月

発行：東京農業大学学術情報課程（オホーツクキャンパス）博物館情報学研究室 平成28年（2016）3月
099-2493 網走市八坂196 Tel: 0152-48-3857 Fax: 0152-48-2766 y3uni@bioindustry.nodai.ac.jp